

ちょっと拝見!

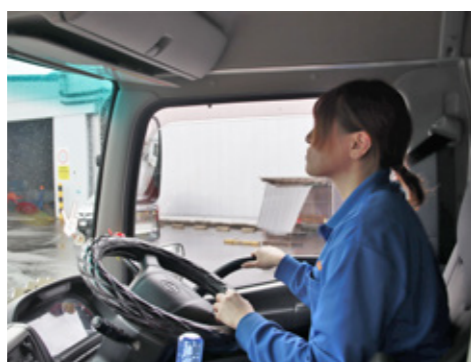
MOKA



の職場



トラックに乗り込む様子



安全第一に運転する姿



お祭りに参加する様子

真岡運送株式会社
物流部 神鋼事務所
おおつか ひとみ
大塚 瞳さん (28歳)

安全運転で
丁寧に荷物を届けたい

仕事内容を教えてください

当社は、お客さまのニーズに合わせた総合物流サービスと、リアルタイムに即応する倉庫・保管サービスを行っている会社です。私はトラックを運転して、アルミ板材などの横持運送*を担当しています。

入社きっかけは何でしたか?

以前は関連会社で事務として働いていましたが、大きくて迫力のあるトラックに憧れて、自分で運転したいと思い、23歳の時に入社しました。

やりがいは何ですか?

お客さまに荷物を届けた際に「届けてくれてありがとう」と感謝される時にやりがいを感じます。また、トラックを運転していると、こどもたちが手を振ってくれるのでとても嬉しいです。

*工場から倉庫、倉庫から店舗など、自社の拠点間や同じエリア内で荷物を移動させる輸送手段

苦労したことはありますか?

最初はトラックの運転に苦戦しました。車体が大きく、慣れない視界に不安を感じましたが、先輩にアドバイスをもらいながら安全運転で荷物を届けています。

社内の雰囲気はどうですか?

大型免許取得支援など会社のサポートが手厚く、休みも取りやすいです。会社の方々はもちろん、お届け先の方々も優しく、人の温かさを感じられる会社です。

休日の過ごし方は?

休日はジムでランニングをしたり、地域のお祭りに参加したりして楽しんでいます。

今後の目標を教えてください

これからも安全運転を第一に、お客さま一人一人に丁寧に荷物を届けていきたいです。また、旅行資金を貯めて国内旅行に行きたいです。

会社プロフィール
真岡運送 株式会社

【所在】
鬼怒ヶ丘 1丁目2番地 1
【会社設立】
昭和 26年 6月



会社 HP



当社は総合物流サービスと倉庫・保管サービスを行っている会社で「ユーザーへのサービス」「安全輸送」「品質保証」を企業姿勢として、地域に根付き、お客さまの身近な存在となり、お役に立てる物流サービスを提案・提供することで地域社会、お客さまの事業の発展に貢献します。

掲載希望の方は秘書広報課広報係へ
TEL 83-8100 kouhou@city.moka.lg.jp



あの日あそこ

第 443 回

いざわ ひでお
伊澤 秀男さん
(中在住・79歳)



農業生産者に寄り添って

私は昭和 21 年に三ツ谷の農家に長男として生まれ、早いもので今年傘寿を迎えます。

昭和 39 年、農協に入職する前の年に、新潟県で大きな地震がありました。当時田植えをしていて、田んぼの水がゆらゆら揺れる光景を今も覚えています。また、その年は第 18 回東京オリンピックが開催され、私も会場へ行き、聖火台の近くから閉会式を観ました。その時の入場券の半券は、今でも大切に保管しています。

昭和 40 年ごろ、中村地区では大型の真岡工業団地の造成、そして大々的な水田の基盤整理事業が行われ、いちご栽培やプリンスメロン栽培が軌道に乗り始めました。



▲オリンピック閉会式の入場券

そして昭和 49 年ごろには第 2 次農業構造改善事業が始まりました。馬や牛からトラク

ターへ、並ぶ五月女*から田植え機へ、平型乾燥から立体乾燥機の導入など、農業に画期的な変化が訪れました。



▲ナイアガラの滝の前で

さらには近代的なトマトの大型ガラスハウスの建設や、中央集荷場の建設・一元化を行いました。生産者の集荷や検品にかかる手間を減らし、作物を作ることに特化できるようになり、生産の拡大につながりました。当時の集荷場の周辺を通ると、今でもプリンスメロンの香りを思い出します。

定年退職後は区長を務め、地域の行事や行政の指導事業、市バスでの研修会など、たくさんのお仕事に取り組みました。なかでも平成 22 年 12 月に行った東京電力福島第 1 原子力発電所での研修、その 3 カ月後に原子力事故が起きたことは今も鮮烈に覚えています。

これからは友人たちと行く旅行を楽しみにしながら、米やかんぴょうを作り、孫たちの成長を見守りたいと思います。

*並んで手作業で田植えをする様子



▲アンコールワット



▲福島第一原子力発電所

消費生活センターメモ No.515

5月は消費者月間です

今年のテーマ

見える情報 見えない仕組み

～AI時代の消費者力を高めるために～



デジタル化の進展、AI(人工知能)の技術向上により、インターネット上で消費者の好みを踏まえて情報が提供され、消費者は商品やサービスに関する情報を容易に入手できるようになりました。一方で、消費者を意図しない行動に誘導する仕組みや情報漏えいなどのリスクが存在します。デジタル社会に必要な消費者力を高めることが重要です。

AIによりフィッシングメールが劇的進化
メール本文にあるリンクをクリックしない!

メール本文にあるリンクをクリックすると、本物そっくりな偽サイトに誘導されます。個人情報、クレジットカード情報、ID・パスワードを入力すると、なりすましの被害に遭います。

個人情報を収集する事業者は、収集の目的、利用範囲について、あらかじめ個人の同意を得ることが義務付けられています

SNSのアカウント連携により決済のスムーズさやポイントが貯まる「お得さ」等がありますが、サービス連携先にデータが流れることを認識しておく必要があります。プライバシーやデータの利用範囲を、自分で選択し設定できるか、確認しましょう。



定期的なソフトウェアの更新、電源を切る、ログオフするなどの対策をとりましょう

ネットショッピングなどのサイトにログインしている間に、別のサイトを閲覧すると、ログインIDと紐づけてネット上の行動履歴等を提供してしまう可能性があります。

【相談窓口】消費生活センター(くらし安全課内)
TEL 0285-84-7830 (ハナシテナヤミナシ)
平日 9:00~12:00 13:00~16:00 ※相談料無料